

|       |  |                |
|-------|--|----------------|
| 委員会審議 |  | 令和3年10月22日     |
| 申請者   | 呼吸器内科医師  | 佐藤 裕基          |
| 1     | 入院が必要な肺炎患者家族と医師における肺炎に対する認識調査  |                |
| 研究の概要 | <p>概要</p> <p>(1) 目的<br/>入院担当医と患者家族のコミュニケーションエラーを調査することにより、患者家族の望むICや医師と患者家族の患者重症度やフレイルに対する認識のギャップを突き止めることができる。医師がICする前の家族の肺炎に対する認識と医師とのギャップ、医師がICした後の家族の肺炎に対する認識と医師とのギャップ、患者家族のICされた前後での認識の変化を調査することにより、今後患者家族満足度の把握に必要である。</p> <p>(2) 対象及び方法<br/>研究対象者の組み入れ時において、診療録から下記の情報を収集する。<br/>研究の対象とする患者は選択基準に該当する肺炎患者である。<br/>研究対象者の組み入れ時において、診療録から下記の情報を収集する。<br/>研究対象者背景：年齢（生年月日）、性別、身長、体重（身長と体重は状態次第ではデータを獲得できない可能性もあるため必須ではない）、併存疾患、入院時の場所（集中治療室・一般病棟など）、転機、DNARになったか否か。DNARになった場合は、入院してからの日数。<br/>診断年齢、罹患期間、肺炎重症度（A-DROPシステムを用いる。年齢、BUN、SPO2、意識レベル、血圧を用いたスコアリングシステム）。<br/>原疾患の治療歴：現在までに使用した治療薬の名称。<br/>現在の併用薬：薬剤名、一日投与量、投与経路、投与理由、投与期間。<br/>血液検査：末梢血白血球、赤血球、血小板、アルブミン、血清Cr、CRP。<br/>なお、研究担当医師による研究対象者の安全性確認（バイタルサインの確認、有害事象の聴取）は通常診療における経過観察に準じて研究期間中を通して行なう。</p> <p>(3) 実施場所及び実施期間<br/>茨城東病院に入院した肺炎患者の家族を対象とする。なお昭和大学病院・昭和大学藤が丘病院・昭和大学豊洲病院・昭和大学横浜市北部病院・山梨赤十字病院・荏原病院・旭中央病院・亀田総合病院に入院した患者も同様に研究が行われる。<br/>実施期間は国立病院機構茨城東病院倫理委員会承認後研究実施許可を得てから2025年12月31日まで</p> |                |
| 判定    | 承認   | 本審査は全員一致で承認された |